

当行の概要

名称	株式会社八十二銀行
本店所在地	〒380-8682 長野市大字中御所字岡田178番地8
設立	1931(昭和6)年8月1日
拠点	国内153店舗 本支店 142(長野県内122) 出張所 11(長野県内 11) 海外 3店舗 支店 1(シンガポール) 駐在員事務所 2(上海・バンコク)
従業員数	3,372人
資本金	522億円
発行済株式数	493,767千株
総資産	12兆5,755億円
純資産	9,449億円
格付	S&P A- R&I A+ JCR AA

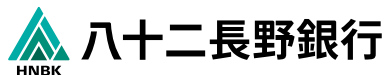
(2025年9月30日現在)

TOPICS

2026年1月1日、八十二銀行と長野銀行は合併し、「八十二長野銀行」としてスタートします。
当局許認可等を前提として合併する予定です。



合併に伴いロゴも新しくなります



八十二長野銀行の新たなロゴは、緑色を基調として、安定・親しみを感じられる角を落とした三角形を用い、山々に囲まれた信州の自然や「地域に根差した誠実な銀行」を表現しています。

株式のご案内

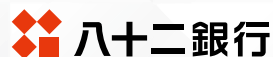
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場 (証券コード：8359)
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	6月
単元株式数	100株
配当金	期末配当金は定時株主総会終了後、中間配当を行う場合は、取締役会の決議により、配当金基準日の株主等にお支払いいたします。
基準日	定時株主総会：3月31日 期末配当金：3月31日 中間配当金：9月30日
公告方法	電子公告により当行ホームページに掲載いたします。 公告掲載URL https://www.82bank.co.jp/ (事故等やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、信濃毎日新聞及び日本経済新聞に掲載いたします)

株主名簿管理人 及び 特別口座の 口座管理機関

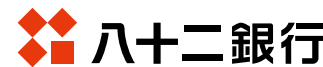
三菱UFJ信託銀行株式会社
(お問い合わせ先)
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日綱町1-1
電話0120-232-711(通話料無料)
受付時間/9:00~17:00
(土・日・祝日及び12/31~1/3を除く)
(郵便物送付先)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国各支店におきましてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



2025年11月発行／編集：八十二銀行 企画部
〒380-8682 長野市大字中御所字岡田178番地8
電話(026)227-1182
<https://www.82bank.co.jp/>



The Hachijuni Bank, LTD.

2025.9 八十二レポート

営業の中間ご報告



この印刷物は、環境に配慮した
植物性インキを使用しています。



ごあいさつ

取締役頭取 松下 正樹



皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

2025年度上期のわが国経済は、物価高や人手不足など顕在化する諸課題に、地政学リスクや米国による関税政策が加わり不透明感が一層強まりました。金融面においては、金融政策の転換による「金利ある世界」が到来する一方で、欧米では政策金利の引き下げが始まり、新たな局面を迎えました。

当行グループでは、このような事業環境の変化にも柔軟に対応できる経営基盤を再構築するべく、中期経営ビジョン2021『金融×非金融×リレーション』でお客さまと地域を支援する」を掲げ、地域経済の活性化のほかにもDXやGXなど持続可能な地域社会の実現に向けて、幅広いテーマで実効性のある施策を展開してまいりました。

こうした事業活動を通じて2025年度上期の親会社株主に帰属する中間純利益(連結)は297億円となり、3期連続の最高益更新も視野に入ってきています。また、記念配当5円を含めた一株当たりの配当金は年間50円を計画し、5期連続の増配とさせていただきます。中期経営ビジョン2021の最終年度となる本年は、これまで5カ年の集大成となるよう取り組んでまいります。

当行は2026年1月1日に長野銀行と合併し、「八十二長野銀行」として新たにスタートする予定です。これまで両行が培ってきたノウハウ、リレーションおよび人材を掛け合わせ、地域の発展に貢献し続けてまいります。

皆さまのご厚情に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2025年11月

経営理念

健全経営を堅持し、 もって地域社会の発展に寄与する

八十二銀行が目指す「健全経営」とは

- ・財務の安定性
- ・適正なリスク管理を前提とした収益性
- ・ESG経営実践による持続可能性

中期経営ビジョン2021

「金融×非金融×リレーション」で お客さまと地域を支援する

- テーマ1 経営の根幹としてのサステナビリティ
地域社会の持続的な発展を支援
- テーマ2 ライフサポートビジネスの深化
コンサルティング強化により幅広い世代の方の豊かな生活を実現
- テーマ3 総合金融サービス・機能の提供
お客さまの課題解決を通じて企業や地域の持続的成長を支援
- テーマ4 業務・組織のデジタル改革
デジタル・データを利活用して地域社会の持続的発展に貢献
- テーマ5 成長とやりがいを支える人事改革
多様な職員の成長とやりがいの実現による組織力向上

中期経営目標

年間配当目標額

2023年度から2025年度
毎年度1株当たりの年間配当目標額20円以上

温室効果ガス排出量(スコープ1、2)

八十二グループ
2025年度：ネットゼロ 2030年度：2019年度比80%削減

融資先の温室効果ガス排出量算定促進(スコープ3カテゴリ15)

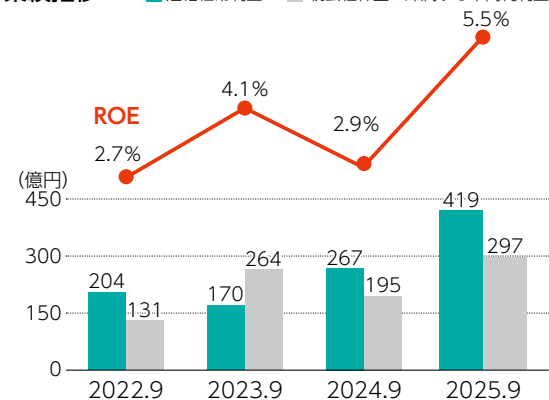
2025年度 排出量把握先 450社
スコープ3カテゴリ15(2024年3月末基準)の40%に相当する450社の排出量を把握

再生可能エネルギー創出

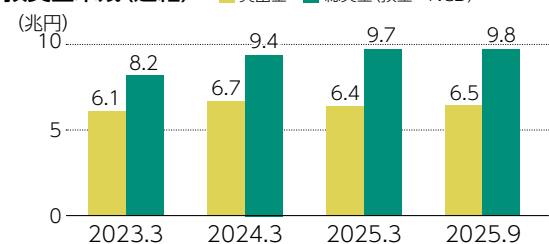
2024年度から2030年度
―事業用再生可能エネルギー発電設備向けサステナブルファイナンス累計実行額 900億円
―ZEH水準及び太陽光発電設備付き住宅ローン・リフォームローン累計実行件数 10,000件

業績ハイライト

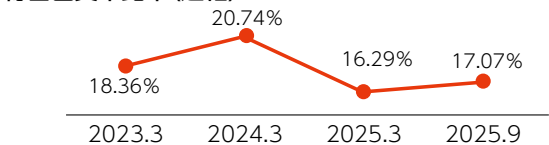
業績推移



預貸金末残(連結)



総自己資本比率(連結)



1株当たり配当金

